斉藤 義明 議員
市民の声

府中湖での東京オリンピック事前合宿や高校総体によるまちおこしを

Q 府中湖カヌー競技場で東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿や高校総体が行われれば、本市はカヌー一色になる。「カヌーのまち さかいで」の全国発信に向けた市長の覚悟は。

A 事前合宿の誘致や高校総体の開催には、当然ながら施設整備が必要となってきます。今後、オリンピック関連予算やスポーツ振興くじ助成金などを研究しながら、トレーニング施設や見学席の整備といった競技場全般にわたる改修等を県とともに進め、「カヌーのまち さかいで」の推進に繋げていきます。

（市長）

平均寿命と比較して健康寿命を短くしている要因は何か

Q 誰もが「健康で長生きし、人に迷惑をかけずに天寿を全うしたい」と思っている。しかし、実際は介護状態や長期入院をせざるを得ない方が大勢いる。「元気で長生き」を妨げているものとは何か。

A 「元気で長生き」を妨げている要因として食生活や生活習慣病が注目されており、その中でも糖尿病が問題視されています。本市の健康づくりの重点テーマの一つとして、各種イベントや健康教育・料理教室などを利用して糖尿病対策の啓発活動を実施しています。今後も県と協力しながら食生活の改善を推進し、特定健診などの健診事業を充実させ、「元気で長生きするまちづくり」を目指していきます。

（健康福祉部長）

質問の主な項目
- ふるさと納税の寄附額と財源流出額について
- 坂出市健康づくり推進協議会の取り組みについて
- 県へ移行した際の国保税について

野角 満昭 議員
日本共産党議員会

本市における非正規職員の官製ワーキングプア解消に向けた考えは

Q 正規職員数の増加を図るとともに非正規職員の官製ワーキングプアを解消するために待遇改善を求めるが、今後の対応は。

A 普通会計における正規職員数に関しては、当面は第2次定員適正化計画で掲げた500人という人数を基準に、職員の年齢構成等諸条件を考慮しながら将来を見据えた適正な職員配置に努めます。

また、非正規職員は市の業務の最適な執行体制の確保のために必要不可欠な存在です。待遇改善については、法の規定を踏まえ、国の動向や他の地方公共団体並びに民間企業の状況も参考にしながら、均衡の原則に基づき、適切に対応していきたいと考えています。

（総務部長）

質問の主な項目
- 京町団地の改修について
- 本市ブランド農産品の今後の見通しについて
- 公衆浴場への支援策の内容について

農作物の生産拡大策として、遊休農地を含めた農地貸借制度の創設を求める

Q 耕作放棄地・遊休農地を含めた農地貸借制度を創設すれば、農作物の生産拡大にもつながり、一石二鳥の事業となるが、どう考えているか。

A 新たな農地貸借制度の創設については、農地の権利移動の手段を記した法律以外での公の貸借制度の創設は困難であると考えています。今後とも現行制度の周知に努め、農地中間管理事業をさらに積極的に活用し、農地所有適格法人等への農地の集約化を進め、本市のブランド農産品の生産拡大に努めていきます。

（建設経済部長）

●各議員の QR コードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。